

法律学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

吉川 智志

1. 授業の概要(ねらい)

本授業のねらいは、日本国憲法の正確な知識を習得させるとともに、現代的な社会問題について、自力で憲法学的な検討を行えるようにすることにあります。取り上げる問題は、学生の希望に基づいて決定します(従って各回の授業内容は暫定的なものです)。

2. 授業の到達目標

- ①憲法の正確な知識を習得する
- ②現代的な社会問題について、自力で憲法学的な検討を行えるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

報告内容、発言などの平常点(100%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

山本龍彦・横大道聡 『憲法学の現在地:判例・学説から探究する現代的論点』 日本評論社

5. 準備学修の内容

報告の準備および課題文献の精読

6. その他履修上の注意事項

報告の担当が割り当てられた場合には、きちんと準備をしてくる。また、間違えることを恐れず、積極的に発言すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(授業の進め方の説明)
- 【第2回】 国家と宗教
- 【第3回】 表現の自由の原理論
- 【第4回】 マス・メディアの自由と特権
- 【第5回】 国家助成と自由
- 【第6回】 大学の自治・学問の自由
- 【第7回】 教育の自由・教育権
- 【第8回】 経済的自由の限界
- 【第9回】 財産権
- 【第10回】 生存権
- 【第11回】 代表観念
- 【第12回】 選挙制度
- 【第13回】 政党の位置づけ
- 【第14回】 議院内閣制
- 【第15回】 まとめ